



隠れた名品「明治伊万里」を復刻。有田泉山の陶石を100%使用し、当時のままの精緻な絵付け技法を再現することにより、高度技術の伝承もねらう。

[佐賀県・有田町]

明治伊万里復刻製品の開発と販路開拓

有田製窯 株式会社

**有田ブランドを守り、
伝統技を継承するため
「幻の伊万里」が復活。**

明治中期、有田焼は海外で高い評価を獲得。鹿鳴館では、西洋の要人をもてなした。その中心を担った「精磁会社」は、わずか数十年で消滅したが、数少ない名品は「幻の伊万里」として語り継がれる。江戸創業の弥左門窯を受け継ぐ有田製窯は、この明治伊万里を復刻。伝統技術の継承と高付加価値商品の開発により、新たな需要を掘り起す。



○活用する地域資源：伊万里・有田焼

和と洋の美しさが、 見事に融合した 明治中期の有田焼。

日本初の陶磁器製作が行われた有田町において、江戸時代創業の弥左門窯を受け継ぐ有田製窯。有田焼ブランドを守るためには、職人の技術継承と高付加価値製品の開発が不可欠である。そこで、技術と伝統美、西洋文化との見事な融合に成功した明治期の有田焼「明治伊万里」に着目し、復刻を試みることにした。

有田泉山の陶石、 無鉛絵の具にこだわり 高付加価値を追求。

今回復刻したのは、「精磁会社」が製作し、百田家伝書（有田町歴史民俗資料館蔵）にも記録が残る本邦初の本格

ほどであった。明治政府の外貨獲得に貢献しただけでなく、鹿鳴館で西洋の要人をもてなし、日本窯業界の国際的な評価を高めた。その中心を担ったのが、明治12年に有田の地に設立された「精磁会社」。残念ながら十数年で消滅したが、「精磁会社」の遺した数少ない名品は、幻の伊万里として語り継がれた。

デザイナーセットなど。近年主流となった扱いやすい天草陶石ではなく、有田泉山の陶石を採用し、すべて無鉛絵の具の総手描きとした。絵の具や上絵の研究を重ねることで、精緻な絵付け技術の伝承や職人の育成も図る。当分は完全予約販売とし、百貨店外売ルートなどに販路拡大を見込む。

（上）製土には、有田泉山の陶石を100%使用。近年普及している天草陶土よりも扱いが難しいが、敢えて当時の製法に忠実に従い、復刻を試みた。
（中）今後、有田焼発祥400年を迎える平成28年までの期間限定で170種を復刻製作する。
（下）明治伊万里の絵付け。精緻な技法を有する職人は、近年その数を減らし続けている。

Company Info.

戦後まもなく海外へ販路を拓いた、 文化元年創業の歴史ある窯元。

文化元（1804）年、松本弥左門が窯を開く。明治38（1905）年に創業者松本静二氏が有田物産合資会社を設立し、陶磁器販売業を始める。昭和15（1940）年、株式会社有陶社を設立。昭和22年に有田陶磁器と変更し、輸出貿易に進出。昭和32年、取引先有田陶業の生産設備を譲り受け、有田焼生産を開始。昭和45年に本社および本社工場を新設して移転。平成6（1994）年、赤坂工場を移転新設。平成17年、有田製窯株式会社の営業権一切を譲り受け、有田製窯株式会社として再始動。



松本哲さん／社長室室長。大祖父・松本源次による曾祖父・松本静二の生涯を綴った著書「有田陶業側面史」を読み、「精磁会社」に感銘を受け、復刻に乗り出す。



有田製窯 株式会社

佐賀県西松浦郡有田町黒牟田丙3037-8
TEL.0955-43-2224
http://www.gold-imari.com
http://www.aritaware.com

